

本日ここに、久山町議会3月定例会を招集したところ、議員全員の皆さまのご出席を賜り、誠にありがとうございます。

3月に入り、これからいよいよ卒業、入学のシーズンが到来しますが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小して開催いたします。コロナ禍でさまざまな事が制約され、子どもたちの気持ちを考えると、非常に寂しく悲しい気持ちになります。

しかし、このような時だからこそ教育委員会と連携を図り、晴れの式典となるよう、久山町として全力でお祝いしたいと考えております。

一昨年末以降、全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、今の社会を大きく変えようとしていることは言うまでもありません。これまでの経済は大量の物や人が行き交うことで成り立ち、大量生産、大量消費、大量移動の時代であり、石油を中心に多くの資源が使われてきました。今まさに世界はこうした従来の姿からの転換が求められ、コンパクトでスマートな時代へのシフトが始まったと言えます。一連の変化は、安い製品を大量生産し、ひたすら規模の拡大を目指してきた日本経済にとって、極めて大きなインパクトをもたらし、これにより地方自治体の経営も大きな変化が必要となってきます。

バブル期の事例からみても、大きな組織を変えていくのはなかなか難しいものですが、小さな組織は環境に合わせて、俊敏に行動し早い意志決定を行うことが可能です。つまり、今こそ小さな町のメリットを最大限に活かしていくことが大切な時期に来たと考えています。従って、今後さまざまな提案においていち早く実行できるように、共にスピード感を持って、議員お一人お一人の皆さまと手を取り合い、意識を共有することが、この町にとって重要だと考えております。どうか、より一層のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

それではこれより、令和3年度の予算編成の方向性について説明させていただきます。

まず after コロナ、with コロナに対応した行政サービスを展開するためには、財政力の弾力性が必要です。また各自治体においては、令和3年度には過去最高規模の当初予算という報道が相次いでいます。本町におきましても法人住民税を始め、税収に与える影響が見えない状況に加え、国の経済対策支援などの未確定の部分を考慮し、令和3年度は財政調整基金を取り崩した予算編成を行わざるえない状況となっております。

従って、これから数年は新型コロナウイルス感染症による経済構造の転換を考慮しながら、緊急事態に備えた一定の基金額を毎年度確保し、有効的な基金の活用を図っていくために基金の取り崩しは必要な要素となります。そのため、新型コロナウイルス感染症に関する対策を優先的に取り組む時期と見定め、来年度から開始を予定しておりました山田小学校の大規模改修につきましても、苦渋の決断でございましたが先送りさせていただくことといたしました。当然、子どもたちの安全を確保するため緊急性のあるものについては、今まで通り対応してまいります。

さてこれよりは、令和3年度の方向性についてお話をさせていただきます。

令和3年度は、「with コロナ、after コロナに対応した新たなまちづくり」を目標に掲げております。目の前にある課題に対応しながら、未来への投資を展開していきます。そこで、大きく三つの項目に分けて、進めていきます。

一つ目は、新型コロナウイルス感染症感染予防対策の実施

二つ目は、経済対策支援の実施

三つ目は、新たな投資サービスの実施

です。

まず一つ目の新型コロナウイルス感染症感染予防対策の実施について、今後はその解決策として期待されている「ワクチン接種」への対応が大切となります。本町ではいち早く、町内の開業医、九州大学久山町研究室の先生方にご協力をいただき、スピーディーに準備体制を整え、既に2月15日に第1回目の「ワクチン接種推進会議」を開催し、課題やスケジュールの共有を図っております。

今後は、町内の各診療所で行う個別接種と個別接種を補完するために、ヘルスC&Cセンターで実施予定の集団接種を効率的に行い、できるだけ早期にワクチン接種の完了を目指しており、1日でも早く町民の皆さまの日常を取り戻せるように、ワクチン費用、人件費などを予算計上しております。

また、ワクチン接種や健康、防災情報などを含め、LINEアプリの導入および、デジタルテレビのdボタンを活用したリアルタイムな情報発信を行っていきます。さらにLINE、dボタンの活用に対応する教室も開催し、若年層から高齢者の方々まで幅広い世代のニーズに対応した情報発信の強化を図っていきます。

続いて二つ目の経済対策支援の実施です。

After コロナを見据え、経済の活性化が必要不可欠になります。そのための効果的な商工振興策を実行していくため、令和2年度に引き続きプレミアム付商品券の発行を計画しております。令和3年度もプレミアム率を20%とし、発行枚数も7,000冊を維持します。そのため6,650千円を予算計上し、商工者支援と町内の経済循環を図っていきます。

最後に三つ目は、新たな投資サービスの実施です。

本町の住民の皆さまに安心して暮らしていただくためにも、きめ細やかな伴走型支援として、一般不妊治療支援、環境整備、教育支援に取り組んでいきます。

福岡県においては、不妊に悩む方への特定不妊治療支援事業を実施していますが、医療保険適用外である一般不妊治療（人口受精）への支援はありません。そこで、新規の政策として一般不妊治療に要した費用の一部として、1夫婦5万円を上限に町独自での助成を行います。少しでも不妊治療に悩む方の支援になればと考えております。

環境整備については、子どもたちが安心して遊べる「地域にある身近な公園」を目指し、本年度は草場地区に、遊具が充実した公園の設置を計画しております。また、一部の通学路において防犯灯の設置も予算計上しております。

教育支援については、令和2年度、GIGAスクール構想に基づき、文部科学省の補助金と

地方創生臨時交付金を活用し、町内の小中学校において、通信ネットワークの整備を実施しました。これにより児童生徒、教員に 990 台のタブレットを購入し、一人一台の端末による授業を開始しました。その結果、ICT を活用した教育環境が充実し、子どもたちの個別最適化に対応した、より一層の教育の充実が期待されます。

また、学校の休校に備えた自宅におけるリモート授業が可能となり、子どもたちの学習環境の確保が進んでいます。来年度は、さらなるデジタル化の推進と家庭内における ICT を活用した「生きる力」の教育展開についても、検証を行っていきたいと考えております。

また、グローバル人材育成事業を継続すると共に、新たに中学生リーダー育成プログラムへの参加についても予算を計上いたしております。

以上、来年度に取り組む三つの項目の概要についてお話いたしました。今後も社会経済情勢、国の経済対策の支援の内容を踏まえ、議会にお諮りしながら、スピーディーに効果的な事業、サービスの追加も検討してまいります。

加えて、令和 3 年度の予算執行にあたりましては、交付税や国・県支出金等の動向を踏まえ、臨機応変に対応します。町有地の売り払いを推進すると共に、ふるさと応援寄付金のさらなる寄付額増加に向け、企業との効果的な提携を図り、歳入の増加に努めていきたいと考えております。

令和 3 年度は、町の 10 年後の目指す姿を示す「第 4 次総合計画」の策定年度を迎える大切な年となります。新型コロナウイルス感染症による価値観の変化やさまざまな社会、経済情勢を見通した新たな方向性が必要となってきます。先ほどの予算編成の方向性を踏まえ、町民の皆さまにもご理解をいただき、共感していただける総合計画を目指してまいります。

また、ここでお知らせですが、昨年 12 月議会において予算を承認いただいた山田小学校 6 年生による総合的な学習の絵本「私たちの斎宮ものがたり」について、3 月 16 日に地域への絵本渡しを兼ねた最後の授業が行われます。絵本完成に至るまで、地域の方に話を聞いたり、絵の指導を受けたり、一つ一つ工夫をこらして、自分たちで物語を作り上げました。この絵本が、これからの山田地域だけではなく、久山の子どもたちの原点となり、新たな歴史の 1 ページとなっていくものと確信いたしております。こうして、子どもたちの絵本を作りたいという素直な地域への「思い」、「行動」は、この困難な時代に、私たち大人へ大切なもののヒントを教えてくれたのではないのでしょうか。

さらには、令和 3 年は、久山町生活習慣病予防健診事業並びに久山町研究の 60 周年の節目の年となります。従って、まず町民の皆さまに向けたセルフケアの意識を高めていただく情報を発信し、久山町がこれまで取り組んできた「国土」、「社会」、「人間」の健康づくりの新たなステップの年にしていきたいと考えております。

それに先立ち、今回、3 月 8 日から 3 月 31 日までの期間、ヘルス C&C センターの健康ライブラリーにおいて、ひさやまの、ひとびとの、ひびをつむぐ「ひひひ展」と題して、展示会を開催いたします。健診事業は基より、住民の皆さまが手から手へつないできた 60 年の素晴らしさを改めて感じる、この町でしかできない展示会になっております。ぜひ一人でも

多くの皆さまに、ご覧いただければ幸いです。

最後になりますが、令和2年度を改めて振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の影響により、町民の皆さまには、さまざまな場面において、苦しく、辛い1年でございました。しかし、私たちは少しずつですが、その壁に立ち向かい、対応をすでに始めています。令和3年度は、きっとこれまでより、良い1年になっていきます。

私自身も、この困難な時代を乗り越え、町民の皆さまが未来の久山に希望を抱ける新たな1年となるよう、まい進してまいる所存です。これからも行政においては、町民の皆さまお一人お一人の笑顔を思い浮かべ、一丸となって取り組んでまいります。

何とぞ、議会の皆さまにはご理解をいただき、今後ともより一層のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、3月議会に提案しますのは、令和2年度各会計補正予算、令和3年度各会計予算など32件の議案です。詳細につきましては、各担当課長が説明しますのでご審議のほど、重ねてよろしくお願い申し上げます。

令和3年3月3日

久山町長 西村 勝